

「小笠原登博士の生誕地園周寺を訪ねて」



第5回OB会講座では、ハンセン病の隔離政策と闘った小笠原登博士の生誕地、園周寺を訪ねて、ご住職の小笠原英司様より、博士の足跡についてのお話を伺いました。



園周寺の歴史に始まり、そこで育った博士はどんな影響を受けたか、当時の時代背景を交えて詳しく説明していただきました。歴史上の有名な事件や、誰もが知る偉人の名前がぼんぼんと飛び出して、参加者は飽きることなくお話に引き込まれ、予定していた時間はあっという間に過ぎてしまいました。お話の後で「資料展示室」を参観し、肉筆や写真を見ることで、差別と闘う博士の心情により深く触れることができました。あいにくの天気でしたが、充実したひとときを過ごしました。

OB 会活動報告 1/15~3/27

- 1期生...2/9 ○2期生...2/27・3/20
- 4期生...1/15 ○3期生...1/15
- 7期生...1/20・3/10
- 8期生...1/20・3/17



1期生新年会...「甚目寺観音南大門修復に参加する」2月9日(月)7名
 目的①甚目寺観音南大門の大修復に**少し**協力する

②会津の十割蕎麦と天ぷらの昼食を堪能する

昨年より令和の大修復として南大門の大屋根工事が始まった。葺き替えに使用されるサワラ材の板に願い事と名前を書き入れ、7名で35枚お納めすることができた。修復には何万枚も要るのであろうが、たとえ35枚であっても40~50年先の次回修復まで残ると思えば充実感がある。

“あなたの一枚が令和の大修復に必要なのだ”

昼食は商工会館の東に隣接する「蕎麦処甚目寺の龍三郎」。古民家を改造して2~3年前に開店したとのこと。テーブルの前には、仏壇がそのまま鎮座していた。古民家?なるほどと納得する。主人は会津で修業したとの由、十割蕎麦とカリッと揚げた絶妙の天ぷらの味に、全員満足感を覚える。TH生

4期生...新年会



3期生...2度目のOB会
 生存確認も兼ねて葉豆屋で



差し入れの朔日餅
 美味なり



7期生...出前授業



7期生...新年会

8期生...
 出前授業

